



<東部療育センター メールマガジン 2008年8月号>
障害児（者）の方への情報提供を行い、生活支援を目指します。

発行 東京都立東部療育センター
<http://www.tobu-ryoiku.jp/>



2008年8月号のメールマガジンを配信します。うだるような暑さの毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか？

今回は褥瘡ケアについてと障害者自立支援法の軽減措置についての情報を提供します。東部療育センターには褥瘡対策部会があり、重症心身障害の方にもかかわらず極めて低い褥瘡発生率になっています。今回はその経験を活かして、家庭でできる褥瘡ケアの情報をお届けします。



<褥瘡ケアについて>

褥瘡対策部会から

褥瘡に対する考え方・予防及び初期ケアについてご紹介します。

1 褥瘡の原因

以前、褥瘡は圧迫と圧迫する時間が主な原因と考えられておりましたが、現在は<応力（体に圧力が加わった時に、それに抵抗する力）×時間×頻度>と考えられています。

複雑な応力の組み合わせ、応力が加わる時間と頻度が組織の循環不全（全身に血液が十分に流れない状態）及び虚血を生じさせて褥瘡ができるのです。また応力に影響を与える因子には関節部の骨突出、皮膚のしめりけや汚染、全身の栄養状態などが考えられます。

2 予防と初期ケア

◎ 予防

・単に圧迫を除くだけではなく、体位を変えた後は必ず一度体を浮かせて（背抜き、手入れ、挙上）皮膚や軟部組織の引っ張りやずれを取り除きます。こうすると衣類、リネンのしわものばされ、ズレが矯正され、圧迫も開放されます。車椅

子へ移った時も座った後、前かがみにして背中 of ズレを矯正します。足は太ももまで少し持ち上げて皮膚やズレやしわを取り除きます。ベッドの上でもヘッドアップをする場合、挙上は原則 30 度までとし、下肢→ 頭→ 圧の解放→ しわ伸ば→ズレの矯正の順で行います。

これらの行為は体の安定をもたらすだけでなく、効果的な褥瘡予防になります。

- ・除圧のために体の一部を浮かせておくことがあります。この場合、小さな枕ではなく、大きな枕や布団などの広い面で体を支えながら床面から全体を浮かせるようにします。例えば、踵（かかと）の除圧の場合、足首に細い枕を入れるのではなく下肢全体を大きな枕等に乗せるとよいでしょう。小さな用具では部分的にかえって血流を遮断することになり、体も用具から外れたり落ちたりします。大きな用具は広い面で体や皮膚・軟組織を支えるので局所の血流障害も無く、万一緊張したり不随意運動が生じて安定した状態で除圧効果が得られます。

- ・体圧分散マットも様々な大きさと素材（エアーマット、低反発素材、ゲル、水等）でできており有効です。エアーマットのエアは指でグッと押して底に付く程度が適正です。

<望ましいこと>

- ・円座は使用しない方が望ましいです（低反発素材で接触面の広い円座が効果的な場合もありますが）。円座の当たっている部位に持続的な圧迫が加わることにより接触部位が虚血状態 皮膚・軟部組織が引っ張られる⇒円座の中心部にあった部位が虚血状態となるためです。

- ・皮膚に接するリネン類は皮膚表面のこすれや、ひきつれが防止されるようツルツルで滑りやすい素材が望ましいです

<注意すること>

- ・タオルは体位の変換や保持に使用されることが多いですが、使用には注意が必要です。タオル地は摩擦により皮膚を刺激します。また綿は湿気の吸湿は良いのですが放出が悪いからです。丸めて使用すると一層湿気や熱がこもるため頻回に交換することが必要になります。

- ・皮膚は汗や尿便による汚染、乾燥、しめった状態になると傷つきやすいので清潔と適度な保湿が必要です。

特に尿・便にはアンモニアが含まれており、尿・便が付着した状態だと湿疹、皮膚発赤の原因ともなります。

◎ 初期ケア

- ・初期の発赤や浅い褥瘡には透明なポリウレタンフィルム（滑りがよく、褥瘡の観察ができる）やハイドロコロイドドレッシング材等がよく用いられます（医師

の指示によるのですが)。ハイドロコロイドドレッシング材は褥瘡の大きさより2cm程大きいサイズのものを使用し、途中で剥がれたり滲出液がもれてこなければ1週間を目安に交換します。

*ポリウレタンフィルム：柔軟性や伸縮性に優れていて、絆創膏やオムツのテープ等に使われている素材

*ハイドロコロイドドレッシング材：水分を吸引して保てると共に湿った部分にも付けられる粘着面をもった素材

・低栄養状態の原因は多くあり、ケアについて具体的に述べることは難しいのですが、その原因に応じた対策を立て、不足している栄養が摂取できるよう工夫しましょう。

<禁止・注意すること>

・赤くなった皮膚・軟部組織の表面のマッサージはしてはいけません。皮膚の表面は見た目には軽度の障害であっても奥深い骨の周辺は壊死を起こしている場合が多いので、マッサージにより更に骨周辺の血流や組織に大きなダメージを与えることとなります。

・創傷の治癒は無菌的で適度な湿潤状態を密閉することによって促進されることが証明されています。例えば水疱ができた場合も破らない、破れないように注意しましょう。

・褥瘡の洗浄は水圧で十分に洗浄します。創面を傷つけるのでごしごしこすらないよう注意しましょう。消毒液は原則不要です。

以上簡単ですが基本的なことについて述べました。センターでは褥瘡予防の体験学習ができる機会を作りたいと考えています。

<障害者自立支援法の緊急措置について>

医療ソーシャルワーカーから

障害者自立支援法の見直しに向けて、平成20年7月から利用者負担の見直しの緊急措置が講じられました。

具体的には、障害者については低所得1（区市町村民税非課税世帯でサービスを利用する本人の収入が80万円以下の方）及び低所得2（区市町村民税非課税世帯）の方が居宅サービス、通所サービスを利用された時の上限額が軽減されました。

又、成人の障害者の方については、住民票上の世帯ではなく「個人単位」として、所得が算定されることになりました。そのため、今まで障害者本人の所得が

